

各部の名称

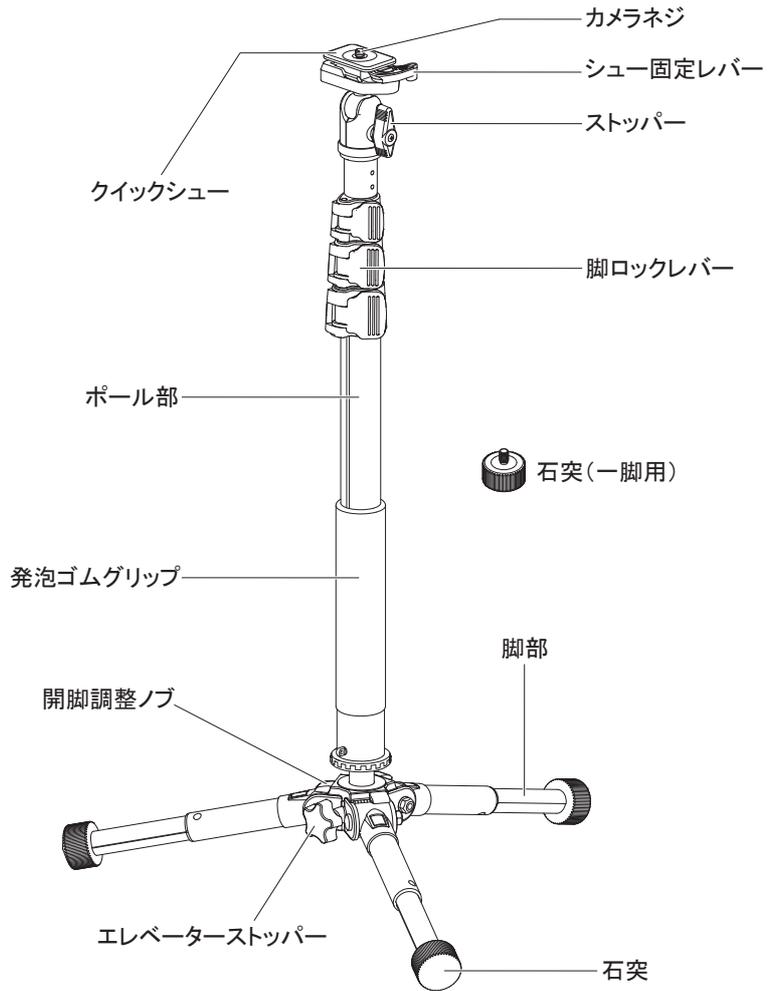
このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

⚠️ ポールポッドシリーズについて

脚部を広げることにより安定性は増しますが、あくまで一脚の補助的な役割ですので、ご使用中は必ずカメラをしっかりと保持してください。また、脚部を足で踏んで固定する等の行為は、故障の原因となりますのでおやめください。



撮影場所等の移動の際は、必ずカメラを外して携帯して下さい。カメラを取り付けたまま移動すると予想以上の力が加わり、カメラが落下する恐れがあります。



Pole Pod III	
雲台	QHD-33M
全高 (EV含む)	1820mm
全高 (EV含まず)	1806mm
エレベータースライド	14mm
最低高	622mm
縮長	687mm
脚径	ポール部=29/26/23/20mm、脚部=21/18.2mm
段数	ポール部=4段、脚部=2段
質量	1030g
推奨積載質量	2000g
クイックシュー	QB-42

※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。
※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

(修理受付)

お客様ご相談センター

〒408-0205
山梨県北杜市明野町浅尾新田12
電話: 0551-25-6155
E-Mail: jpsupport@velbon.com

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

保証書

商品名	Pole Pod III		お客様	様
お買い上げ年月日	平成 年 月 日	西暦 年 月 日	〒	
保証期間1年(お買い上げの日から)		住所		
ご購入店名	電話			
印	本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。			

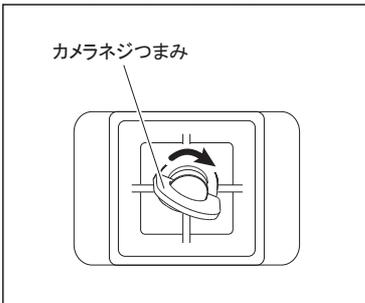
1-1.カメラの取り付け方



シュー固定レバーを最後まで起こすとクイックシューが浮き上がりますので、上図矢印方向へスライドさせながら、本体から外します。

カメラを取り付ける際は、必ずカメラをしっかり并保持しながら慎重におこなってください。クイックシューが装着部からはみ出したりせず、動かずに確実に固定されている事を確認してください。なお、クイックシュー取り付け時にシュー固定レバーは勢いよく戻ります(半自動固定)。危険ですので手や顔を近づけないで下さい。

1-2.カメラの取り付け方



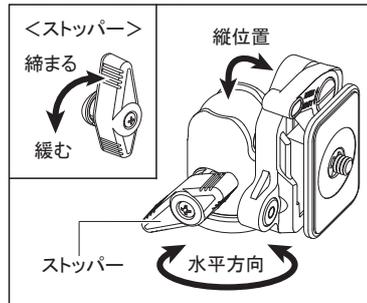
カメラ底面のネジ穴と、クイックシューのカメラネジを確実に合わせ、クイックシュー裏面のカメラネジつまみを起こして上図の矢印方向へ回し、しっかりと確実に取り付けして下さい。

1-3.カメラの取り付け方



シュー固定レバーを開放位置にした状態で、クイックシューをレバー側から斜めに滑らせるように取り付け、下に押し付けるとレバーが戻り、半自動固定されます。後は手でレバーをしっかり押し込んで下さい。

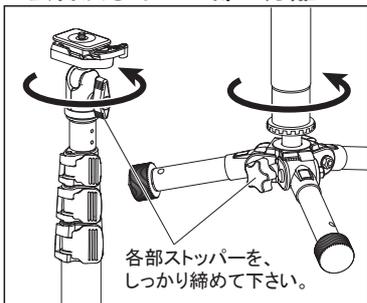
2.雲台の使い方



カメラをしっかり并保持しながらストップバーを緩めると、カメラを自由に動かすことができます。アングルが決まった位置でストップバーを締めて固定し、シャッターをきります。

ストップバーを緩める際は、必ずカメラをしっかり保持しながら慎重におこなってください。重さでカメラが急に倒れ、破損の原因となります。

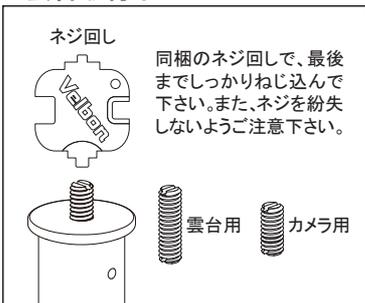
3.雲台及びポール部の分離



雲台やポール部を分離する場合は、各部ストップバー類をしっかり締めて、雲台又はポール部を反時計方向に回して外して下さい。雲台は他の別売雲台に交換可能です。

※雲台取付ネジ=UNC1/4(細ネジ)

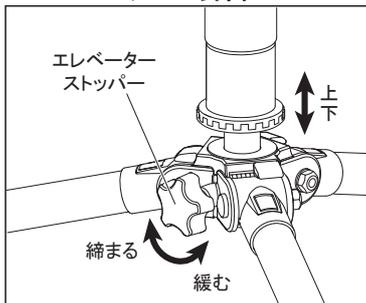
4.雲台取付ネジについて



本製品には、雲台取付ネジが長短2種類あります(工場出荷時は長ネジになっています)。使用状況により適切な取り付けネジをお使い下さい。

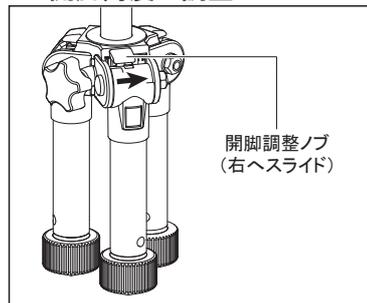
※雲台を取り付ける場合=長ネジ
※カメラを直接取り付ける場合=短ネジ

5.エレベーターの昇降



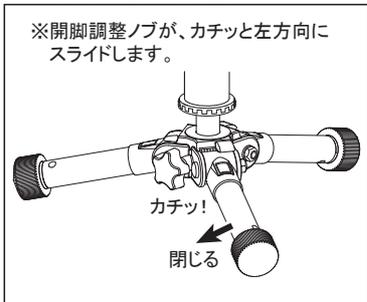
エレベーターストップバーを回して緩め、手動で高さを調整します。必要な高さでエレベーターストップバーを締め、固定して下さい。

6-1.開脚角度の調整



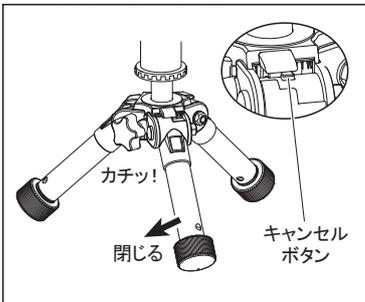
脚を閉じた状態で、開脚調整ノブをカチッと止まる所まで右方向へスライドさせます。その状態で脚をいっばいに開くと、ローポジションとなります。

6-2.開脚角度の調整



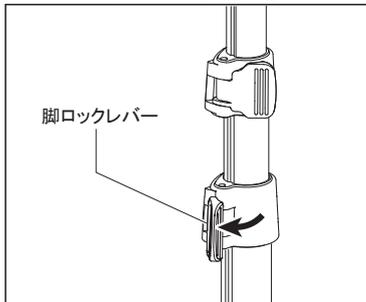
ローポジション(上図イラスト)にした脚をゆっくり閉じていくと、開脚調整ノブが自動的に、カチッと左方向へスライドします。この位置がセミローポジションとなります。

6-3.開脚角度の調整



セミローポジション(上図イラスト)にした脚を閉じていくと、再び開脚調整ノブが自動的にカチッとスライドし、標準開脚に戻ります。なお誤ってノブをスライドしてしまった時は、キャンセルボタンを押すことによって元の位置に戻すことができます。

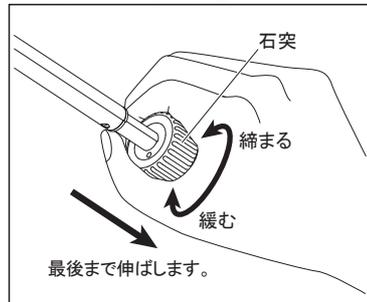
7.ポール部の伸縮・固定



ポール部の伸縮は、脚ロックレバーを起して脚を引き出し、必要な長さで脚ロックレバーを倒して固定します。ポール部を全段引き伸ばさないで使用する場合は、できるだけ太い脚を使って撮影して下さい。

脚ロックレバーの開閉時に、指をはさまないようご注意ください。

8.脚部の伸縮・固定



脚部を伸ばすには脚先端の石突を握り、緩む方向に「カクッ」とロックが外れるまで回します。脚を最後まで引き伸ばし、石突を締める方向にきつめに回して脚部を固定します。締める際は逆の手順をおこなってください。

石突を握る際は、泥等で手を汚さないようご注意ください。また石突と脚の間で指(手)を挟まないようご注意ください。

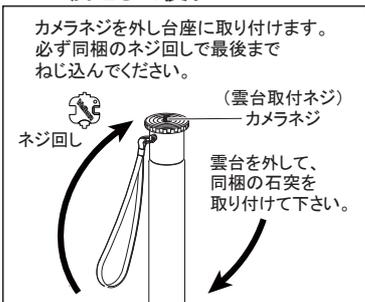
9.ミニ三脚として使う



雲台・ポール部・脚部を分離し、雲台を脚部に直接取り付けることで、ミニ三脚になります。テーブルフォトや花の接写等を楽しめます。

※ミニ三脚のローポジション機能については、本説明書の項目6「開脚角度の調整」を参考にして下さい。

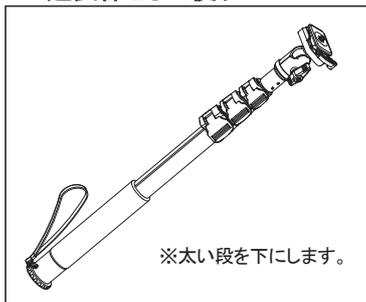
10.一脚として使う



ポール部を外して逆さにし、カメラネジ(=雲台取付ネジ)と石突を取り付けることで、一脚として使うことができます。事故防止・安定保持のため、上図のように同梱のハンドストラップを取り付け、手首を通してカメラを支えて下さい。

※一脚の台座に雲台を取り付ける場合は、長ネジをご使用下さい。カメラを直接取り付ける場合は、同梱の短ネジをご使用下さい。

11.延長棒として使う



ポール部を外すと、そのまま延長棒として使うことができます。その場合、雲台取付ネジが緩んでいないか、必ず確認してください。(先端にカメラを直接取り付ける場合は、同梱の短ネジをご使用下さい)

高所撮影等に使用する場合は、カメラの落下に十分注意慎重に操作して下さい。必ず各部が緩んでいないことを確認して下さい。